



スイカ割り大会

各学校の夏休みの最終日、8月25日(水)に、スイカ割り大会を実施しました。今年の夏休みは、子どもたちが楽しみにしていた活動の多くを中止せざるを得ない状況でした。でも、やっぱり子どもたちに楽しい時間を過ごさせたいと考えていたところに、スイカの差し入れがありました。そこで、感染防止に充分留意して3時のおやつの前に、スイカ割り大会をしたものです。でも、実際は、スイカが割れないようなスポンジの棒を使いました。それでも子どもたちは大満足だったようです。なお、写真はみんなの様子をお知らせしたいと思い、合成したものです。使ったスイカは1つです。また、午前中は金魚すくいも行いました。



でも、実際は、スイカが割れないようなスポンジの棒を使いました。それでも子どもたちは大満足だったようです。なお、写真はみんなの様子をお知らせしたいと思い、合成したものです。使ったスイカは1つです。また、午前中は金魚すくいも行いました。

シェイクアウト訓練



〇身を守る基本行動 (出典：日本シェイクアウト現場会議HP)



まず低く 頭を守り 動かない

横文字で書くと難しそうに思えますが、これは、アメリカで始まった避難訓練の一つです。9月1日は防災の日ですし、いっぽでは、毎月1日は避難訓練の日と決めて、毎月、様々な形で避難訓練に取り組んでいます。マンネリ化を防ぐために今回は、新しいパターンでの避難訓練でした。突然、地震が起きたらどうするか、防災意識を身につけることが目標です。地震が起きたら、①まず低く、②頭を守り、③動かない、というのが身を守る基本行動です。結局はこれまで、なんども繰り返している訓練と同じです。今回も予告もなく始めたのですが、全員がテーブルの下に潜り込んで静かになりました。



新型草刈り機

旧水梨小学校の校舎は広くて使い心地がいいのですが、敷地も広くて、特に畑の周りの草刈りがたいへんです。今年、真如苑「みやぎの居場所づくり」の助成金をいただいたので、新型の草刈り機を購入しました。周りがきれいになって子どもたちが畑の手入れに積極的に取り組んでいる姿が見られます。

児童発達支援 袋作り作業の練習

いっぽでは、放課後等デイサービスだけではなく、未就学の児童発達支援、生活介護でもその月の活動予定表を作成して、計画どおりの支援に努めています。写真は、児童発達支援の活動の様子です。



二酸化炭素濃度測定器

手指の消毒、体温測定に加えて、考えられる感染予防策は、とにかく何にでも取り組もうということで、CO₂センサーを導入しました。これは、換気を促す役割を果たしています。朝、昼、夕方と定期的に換気はしていますが、ピッピッと鳴ったら換気するようにしています。



《編集後記》

最近「SDGs」(エスディジイズ)という言葉をよく耳にします。国連の目標で持続可能な社会を目指し、誰も取り残さないというのが基本方針だそうです。17の分野別にたくさんの具体目標がありますが、誰も取り残さないという姿勢がいいなあ、と個人的に思っています。いっぽでも、持続可能な社会に向けてできることがあるのではないかと思います。具体的にはまだまだこれからです。

